

第5次総合計画後期計画 第2回計画審議会からの変更箇所

・追加 ・削除

① P33

村内の移動手段の確保

指標	現状値(R1)	目標値(R7)
運転免許自主返納支援事業利用者数(累計)	101人	250人
ナイト白馬シャトルバス利用者数	冬季ナイト 11,846人 グリーンシーズン 6,256人	冬季ナイト 15,000人 グリーンシーズン 8,000人

② P36

子育てに関する交流や相談の場づくりと適切な情報発信

子育て支援ルームのなかよし広場や自由利用等、その他屋外遊具のある広場の整備をし、育児中の親子が安心して集える場所を提供します。現在のまた、子育て支援ルームは、老朽化が進んでいることから、現在計画している白馬村図書館等複合施設基本計画に沿って事業をすすめていきます。子育て相談支援センターでは妊娠出産期から18歳まで、切れ目のない子育て支援を実施し、個別相談や療育の充実を図り、一人ひとりの力が発揮されるよう子どもの個性や特性を大切にしながら、健やかな成長を支援します。

③ P37

子育てと仕事の両立支援

保育園(未満児保育の充実)、や子育て支援ルーム、放課後児童クラブや放課後子ども教室の充実、休日保育や、白馬幼稚園との連携により、観光業が主要産業である白馬村の生活に合ったサポートを充実させることで、仕事を持つ親が安心して働ける支援体制を整備します。また、短時間や緊急時に活用できるファミリーサポート制度の活用も含め、病児・病後児保育の充実に努めますへの対応を進めます。(子育て支援課)

④ P44

個人番号カードの普及及び活用による住民サービス向上

指標	現状値(R1)	目標値(R7)
個人番号カード交付率	11.78% (1,113名)	30% (2,834名)

※交付率は、国の規定により平成31年1月1日現在の住民基本台帳人口(9,447名)を分母として算出

⑤ P51

里山環境の保全

山岳景観の麓に広がる田園風景は白馬村の特徴として大切に守っていく必要があります。将来において守っていく農地及びそのエリアを見極め、立地適正化計画や都市計画等の整合性をとりながら、計画の見直しをしていく必要があるとともに、**農業振興地域総合整備計画を見直すとともに、ほ場整備事業や**多面的機能支払交付金等を活用することで優良農地の保全や耕作放棄地の減少に努め、農山村集落の田園風景を守ります。(農政課)

指標	現状値(R1)	目標値(R7)
耕作放棄地面積	9.2ha	農振農用地の再検討 8.2ha
多面的機能支払交付金 取組面積(農地維持)	391.59ha	436ha

⑥ P52

認定農業者への支援

今後の村の農業を支えていく認定農家への支援に努めます。**特に耕地の広い北城地区の担い手確保に力を入れていくとともに、**将来に向け、国及び長野県農業再生協議会が示す、水田農業の体質を強化する水田農業トリプルアップ運動「競争力」、「ブランド力」、「収益力」の取り組みを行い、水田農業の所得向上と経営発展を目指します。(農政課)

⑦ P52

就農体験の機会づくり

ふれあい農園(アグリスクール)や市民農園の貸出しは継続するとともに、特に市民農園の貸し出しについては等の面積を増やし、より多くの方に農業を体験していただく場を提供することにより農業への関心を高めたいとともに、就農を斡旋するなどの機会を設け、自家用野菜の栽培や直売所等での販売のきっかけを作ることで、農業後継者の育成に繋げていきます。(農政課)

指標	現状値(R1)	目標値(R7)
ふれあい農園及び市民農園面積	896 m ²	1,900+200 m ²

⑧ P54

特産品の生産・販売強化

紫米の消費量・出荷量の向上を図るとともに、ブルーベリー、食用ほおずき、陸わさび、トマト等の生産を拡大し、特産品開発やに係る支援を継続して行くとともに、新しい特産品の開発や6次産業に取り組む団体を支援します。(農政課)

⑨ P55

間伐材の有効利用

指標	現状値(R1)	目標値(R7)
公共施設への木質バイオマス暖房設備導入施設数	0か所-1か所	+1か所-2か所
公共施設への森林整備に伴う木質バイオマス燃料納入量	0t	10t

⑩ P58

次代を担う子どもたちの学習支援

国際化する社会に生きる子どもたちが、白馬の自然と風土の中で人間性豊かに成長し、個性と創造性を伸ばしながら社会の変化に主体的に対応して未来を切り開く力を育めるよう、家庭・学校・地域がそれぞれの役割のもとに相互に連携・協力する環境をつくります。また、白馬村の将来を見据えた小中学校のあり方の検討を開始し、有効で効率的な学習支援について研究します。(教育課)

「自ら学び、自ら考える力」と「生きる力」の育成

指標	現状値(R1)	目標値(R7)
中学校情報端末 活用生徒数	延べ 715 789 人	延べ 2,000 人
小学校情報端末 活用児童数	延べ 657 人	延べ 2,800 人

⑪ P59

安心・安全な学習環境づくり

地域で見守る防犯と交通安全の体制により、子どもたちの安全を確保します。また、学校給食で提供される食材を用いて教科との連携をすすめ、生きた教材として活用するとともに、白馬産食材の安全性を守る取り組みや生命との関わりを児童・生徒に実感してもらい、食への自発的な関心を促します。(教育課)

地域で見守る防犯と交通安全協会との連携による通学路安全対策を進めるとともに、スクールバスなど新たな通学方法を検討しながら、子どもたちの安全を確保します。

学校給食では、提供される食材を用いて教科との連携を進め、生きた教材として活用するとともに、白馬産食材の安全性を守る取り組みや生命との関わりを児童・生徒に実感してもらい、食への自発的な関心を促します。(教育課)

⑫ P62

スポーツによる健康づくりと活力の創造

「体育」と言う言葉が体育や身体活動の概念を包摂しているものとされ日本体育協会が日本スポーツ協会へ名称変更されました。白馬村においても令和 3 年度に白馬村スポーツ協会へ名称変更されることに伴い、新たな白馬村スポーツ協会として、住民の健康維持や増進、体力の維持や向上を図るとともに、白馬村体育協会が **「やスポーツクラブのほか、**観光・教育部門とも連携しながら、**更に** 村民一人ひとりが生涯にわたってスポーツを楽しむことができる環境を整備します。(生涯学習スポーツ課)

⑬ P67

クリーンエネルギー・自然エネルギーの利活用

農業用水路を活用した小水力発電の**可能性**の実現に向けて、地域や企業等からの相談に対して積極的に研究・支援を行います。また、ペレットストーブの購入助成、**ペレット流通システム**等を推進するとともに、バイオマス等の再生可能エネルギー(薪ストーブの普及啓発、地産地消の仕組みづくり)、雪・温泉といった地域特有の資源の活用について研究します。また、計画的に電気自動車等の低公害公用車両を導入・更新をします。(農政課・総務課)